

三面
小川
きらきら
光る

小川小学校

HP:<http://ogawa-e.murakami.ed.jp>

小川小日記



仲間、チーム、家族に感謝の3月

校長 佐久間 義久



鮭の稚魚は大海原へ旅立ちました。

能登半島地震、東日本大震災の復興に向けての歩みや、日々の努力の姿を見るにつけ、幸多い令和6年度であれと願ってやみません。

さて、いよいよ年度末を迎えています。保護者、地域の皆さんにとってどんな令和5年度だったでしょうか。達成できた、思いが叶ったという日もあれば、失敗だった…今日はまるでダメだった…明日に期待しよう…のような二歩下がる日もある、その繰り返しを感じた方もいるでしょうか。少なく

とも私はそんな一年でした。もっとも、実はそれは毎年のもので、やっぱり令和6年度も楽しかったというのが総じて今の感想です。

では、何がよい一年だったのかと振り返ると、自らの成功という点での記憶はまるでありません。「ひたすら歩くだけだったけど、みんなで旧三面小校舎を見に行った」「酷暑だったけど、プール開放は大盛況だった」とか、「よい天気ではなかったけど何年かぶりにみんなでスキーやそりすべりを楽しんだ」など、結局は、毎度お伝えしていることですが、みんなで何かをすることができた喜びの積重ねが、素敵な年にしたのではなかったかと思えます。昨春に、「直接体験による熱量を伝えたい」とお伝えしました。まさにそれができた実感できる令和5年度でした。そして、その思いに欠かせなかったのが、仲間でありチームであり、家族です。この仲間がいたから、そして何より、「家族がいたからこそまで来られた」を実感できるのが今です。別れの辛さを感じつつ、実感による喜びを感じる3月です。



卒業式間近となりました。チーム小川で、心を込めて6年生を送り出します。

学校運営協議会を行いました

委員長：板垣安次郎様、副委員長：吉村和昭様、長谷川康様、高橋浩一様、佐藤寿一様、大勝イク子様、板垣正輝様、鈴木てい子様、坂上みどり様、石田徹様から年間4回にわたって諸課題についてご論議いただきました。「GIGAスクールの成果が感じられるようになった」「タブレットは連携ツールであるが、人対人のスキルは身に付けるように」等、多くの声をいただくとともに。「地域連携の推進」等についてもご議論、ご示唆をいただきました。

ありがとう
ございました





温かい気持ちにあふれた「六送会」大成功！



今年も2月22日に「六年生を送る会」が実施されました。5年生を中心に分担した準備を各学年が心を込めて準備をしました。当日のプログラムは、「委員会引継ぎ式」「朝日三面川太鼓引継ぎ式」を含む盛りだくさんの内容でしたが、六年生に対する温かい感謝の気持ちとそれに対する六年生からのお礼の気持ちが伝わる素晴らしい会になりました。



1年生と一緒に入場!



6年生クイズで盛り上がりました。



館腰保育園年長組も見学



なかよし班(縦割り班)で手作りした感謝の色紙をプレゼントしました。



「委員会引継ぎ式」
伝統をしっかり引き継ぎます。



「水平線」を在校生が歌いました。



6年生の出しものと在校生へのメッセージに感動!



「朝日三面川太鼓引継ぎ式」初めに5・6年生で、その後4・5年生で演奏しました。



5年生は当日までに、たくさん話し合いや練習を重ねてきました。その頑張りやチームワークは見事でした。4月からはきっと素敵なリーダーになってくれることと期待しています。

「村上市岩船郡PTA協議会」から、前PTA会長 鈴木 茂弥 様が表彰されました。

子どもたちが楽しめるPTA活動を考え、先頭に立ってPTA活動の活性化に尽力されました。感謝の気持ちを込めて表彰状をお渡ししたいと思います。

今後も地域の子どもの成長を見守っていただけるとありがたいです。

